



椿原天満宮

つばきはら
てんまんぐう

受験シーズンは合格お守りが人気



一向一揆の時期に使われた岩跡が
神社の奥にある



本殿に向かって左手に菅原道真の石碑が



赤い鳥居が並ぶお稲荷さんの社

椿原天満宮

☎ 076-231-3827
📍 金沢市天神町1-1-13
🅓 10台

静かな住宅街の一角、

学問の神様を祀る県社

古い町並みの天神町から旧金沢美大へ上がる天神坂入口に鎮座。金沢五社の筆頭に挙げられる神社で、ご神体には学問の神様・菅原道真を祀っています。永仁5年(1297)に京都の北野天満宮から分霊を迎えて、加賀藩前田家の祈願所になりました。
毎年元旦には「こも樽神酒」や「昆布茶」を参拝者に振る舞うのが通例。地元消防団によるはしごのぼりと裸放水を行っています。毎月1日には「日講祭」を、春祭り、秋祭りの例大祭もあるほか、神殿でのコンサートや多彩な催しなども不定期に開催されています。御朱印も書いていただけます。

巻頭特集

江戸時代から金沢に 鎮座する由緒ある氏神様 金沢五社めぐり

金沢五社めぐりとは

城下町金沢に鎮座する由緒正しき五つの神社。加賀藩前田家の崇敬が厚かった神社であり、古くからこの五社に参拝する「五社参り」が盛んでした。この五つの神社は、金沢城をぐるっと取り囲んで点在していますので、金沢城を守るという役目もあったのでしょうか。ともあれ、散策がてらに神仏の歴史を楽しんでみるのもいいでしょう。

※掲載の情報は取材時のものです。お出かけの際はあらかじめご確認ください。

※ご紹介記事の休日は、GW・夏期・年末年始・冬期等を省略しています。また、入館料等は大人1名の料金のみ記載していますのでご了承ください。

椿原天満宮



宇多須神社



神明宮



小坂神社



安江八幡宮



宇多須神社

近くの立ち寄りどころ



五幹に分かれた老松の五本松。現在の松は三代目

鏡花ゆかりの寺として知られています。た五本松が境内にあり、泉鏡花が小説の題材とした五本松が境内にあり、泉鏡花が小説の題材として知られています。

高台の境内から金沢市街地を一望

金沢城の鬼門を封じるため、加賀藩前田家2代利長の命によって卯辰山中腹に建立された、高野山真言宗の寺院。加賀藩祖前田利家個人の守本尊であった摩利支天を本尊とし、護摩木を焚いて拝む護摩法を行っています。高台に立つ境内から見下ろすと、浅野川やひがし茶屋街など日本情緒たっぷりの金沢市街地が見渡せ、しばしその景観に見とれます。金沢の文豪、泉鏡花が小説の題材とした五本松が境内にあり、泉鏡花ゆかりの寺として知られています。



宇多須神社から急勾配の子来坂を約200m登る



金沢の日本家屋の屋根が間近にせまる

宝泉寺

ほうせんじ

☎ 076-252-3319
 住 金沢市子来町57
 停 なし

卯辰山の中腹に佇む隠れ家のような店

東京の上野蕎麦で修業した店主が営む手打ち蕎麦の店。古民家を利用した建物、靴を脱いで店内に入ると畳座



エビの天ぷらがそびえる天井(蕎麦ご膳)



メインのおろしそば(蕎麦ご膳)

卯蕎

うきょう

☎ 076-252-8838
 住 金沢市子来町55-14
 開 11時30分~14時30分LO
 休 無休 停 4台



やまの中にひっそりと佇む卯蕎

敷にテーブル席。奥の部屋の窓からは遠くに金沢城が眺められます。蕎麦粉は石臼挽きで二八。温かい蕎麦や冷たい蕎麦の単品も揃いますが、おすすめは蕎麦ご膳。前菜(治部煮または海老の湯葉巻)、丼(天丼または鰻丼)、せいろや天せいろなどを選ぶ蕎麦、プリンやぜんざいなど4種から選ぶ甘味が付いて2600円~3400円。



節分祭には芸妓衆の舞と豆まきがある

宇多須神社

うたすじんじや

芸妓衆も参拝に訪れる、

地域に愛される氏神様



前田家の家紋がいっぱいの拝殿内

金沢城の鬼門(北東)にあたる方向に位置し、金沢の人気観光スポットのひとつ、ひがし茶屋街の奥に鎮座。加賀藩祖前田利家の神霊を祀るため、卯辰八幡宮として創建しましたが、明治時代になり、利家の神霊を尾山神社に移したあとは宇多須神社と改名。加賀藩前田家5代綱紀が疱瘡の病が治るようにと祈願をし、神水に酒を入れて「酒湯」として体にかけて治したと伝えられ、拝殿の奥には「酒湯の井戸」跡が残っています。元旦の樽酒振る舞いをはじめ、金沢芸妓の艶やかな舞が奉納される2月3日の節分祭など多くの人で賑わいます。



境内に忍者が潜むというユニークな仕掛けも



宇多須神社

☎ 076-252-8826
 住 金沢市東山1-30-8
 停 15台

神明宮

近くの立ち寄りどころ



室生犀星と作品・交友と人柄をテーマにした展示室



室生犀星の全著書の表紙パネルが年代順に並ぶ



室生犀星の生誕地跡に建つ室生犀星記念館

**金沢・犀川を愛した
文豪の生き様を知る**

「あんずよ花着け地ぞ早やに輝やけ」(小景異情その六)などの抒情詩や、室生犀星自身と娘を題材にした小説『杏っ子』で知られる文豪の記念館です。明治22年に私生児として生まれ、間もなく犀川ほとりの雨宝院に引き取られました。こうした複雑な生い立ちが、美しいふるさとへの思いや家族愛を描く犀星文学に大きな影響を与えたとされています。「美しき川は流れたりそのほとりに我は住みぬ」など、たびたび作品に登場する金沢・犀星のふるさとへの思いを知ることができます。

室生犀星記念館

むろおさいせいきねんかん

☎ 076-245-1108 国 金沢市千日町3-22
 時 9時30分～17時(入館は～16時30分)
 休 火曜(祝日の場合は翌平日) 入館310円 P 4台



境内に堂々とそびえる「神明の大けやき」

神明宮

しんめいぐう



国道157号沿いに鎮座している



背の高い木々に囲まれて拝殿、本殿が鎮座



境内には、しめ縄がかかった願かけ願い石が

巨樹のパワーがみなぎる

厄除けの神

犀川大橋のそばにある古社で、全国七明神のひとつに数えられ、地元では「おしんめいさん」と呼ばれています。春と秋には御幣型に串刺した餅をあぶって食べることで厄災から逃れる「あぶりもち神事」が行われ、300年以上続く伝統神事として賑わいます。境内には、樹齢千年を超えるという大ケヤキがあり、樹高33mもの巨樹は思わず息をのむほど。太古より巨樹にはエネルギーを発する力があると伝わり、パワースポットとしても知られています。生命力や健康力、仕事力などにご利益があるといわれる千年樹守を授かり、御神木のパワーにあやかりましょう。

神明宮

☎ 076-241-1613
 国 金沢市野町2-1-8
 P 10台

器づかいも見事な加賀料理

犀川のほとりにたたずみ、明治建築の邸宅を改装した趣のある外観。本館の座敷、増築されたモダンな離れ、風趣な日本庭園からなる料亭で、季節の移ろいを映す加賀料理を味わえます。離れは、無垢のクリ材や地元産の石材といった自然素材を生かしたくろぎ空間。ランチのくずし会席が評判で、雪吊りを施した庭園を眺めながら味わえます。九谷焼や輪島塗などの器も馳走のひとつ。会席料理は昼9000〜、夜1万6000円〜で要予約です。



くずし会席瀬音5,000円〜。献立は月2回変わり、写真は一例

杉の井 穂濤

すぎのいほなみ

☎ 076-243-2288 国 金沢市清川町3-11
 時 11時30分～13時LO、17時30分～19時LO
 ※離れは昼のみ営業
 休 不定休 P 20台



気軽に料亭を楽しめるようにと、離れはテーブル席に



本館は個室が6室、テーブル個室も用意されている

小坂神社

近くの立ち寄りどころ



晴れていれば大パノラマが広がる。この日は金沢港の豪華客船も遠望



右端に豪華客船が



ブルースカイヨーグルトシェイク550円とバターロールサンド500円

市街地を一望する眺めのいい喫茶店
 小坂神社から坂を上って卯辰山方向へ約700m右手に、昭和59年(1984)に開業した穴場的な絶景カフェがあります。店内に入ると真正面が全面ガラス張り、店名がもつ開放感あふれるイメージ通り、天気によければ市街地から金沢港、碧くきらめく日本海のはるか沖まで見渡せます。海に沈む夕日やオレンジに染まる夕焼けに遭遇し、思わず感動もあるかも知れません。かつては若者カップルで賑わったレトロなカフェで、ブレンドコーヒー450円でゆったりくつろぐもよし、オムライスやピラフでお腹を満たすもよし、使い方は自由です。



卯辰山の中腹に立つ絶景カフェ

スカイ&ブルー

すかいあんどぶるー

☎076-251-2241 ㊦金沢市山ノ上町28-18
 ㊟10時~18時(季節により変動あり)
 ㊞金曜 ㊟5台



松尾芭蕉も参拝したという拝殿。御朱印は事前連絡すれば可能

小坂神社

こさかじんじや



階段の途中には松尾芭蕉の句碑が立つ



右は神鹿吽形、左奥は逆立ち狛犬



拝殿には小坂獅子の展示がある

小坂神社

☎076-252-7891
 ㊦金沢市山の町42-1
 ㊟10台

ひがし茶屋街から北へ約1km、卯辰山公園への坂道の入口付近に位置する古社。1000段以上の階段を上ると森に囲まれた拝殿が現れます。養老元年(717)の創建と伝わり、文明年間(1469~87)の一揆で焼失したものの、寛永13年(1636)に現在地に再興され、以来、加賀藩前田家歴代藩主の崇敬が厚かったといわれます。本殿は貞享5年(1688)の建立と推測。境内には貴重な石造物群も多く、金沢市の有形文化財に指定されています。地元からは「春日さん」と呼ばれ親しまれ、家内安全や商売繁盛などのご利益があるそうです。

金沢北部の鎮守として

栄えた古社

安江八幡宮

近くの立ち寄りどころ



冬はズワイガニ料理がイチオシ。造り、茹で、焼き、鍋などで味わえる

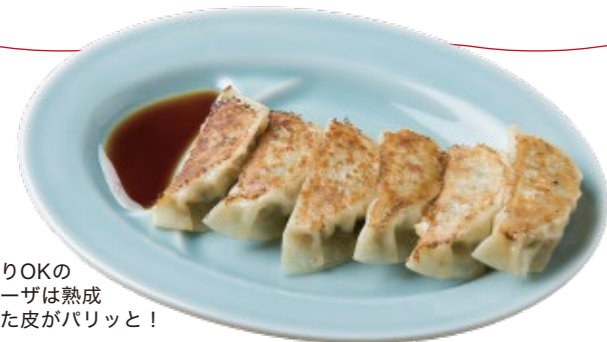
金沢の旬素材を使う
加賀料理を堪能

季節感あふれる加賀料理や四季折々の味を提供する和食店で、ランチは2530円〜。冬にはズワイガニや寒ブリ、ノドグロなど日本海の幸が登場。のどぐる会席9350円や、金沢港直送の蟹つくし会席3万1900円が人気でどちらも要予約。さまざまな用途に対応できる個室が用意され、ランチから冠婚葬祭まで幅広く使えます。千両箱などの藩政時代の名品をあしらった室内はまさに大名気分。県外客をもてなすのにちよつとよい食事処です。

大名茶家

だいまようちや

☎ 076-231-5121
 住 金沢市此花町7-5-1
 時 11時30分~14時、17時~21時30分LO
 休 無休(臨時休業あり) ㊄なし



持帰りOKのギョーザは熟成させた皮がパリッと!

素材にはとことんこだわりの抜く
 健康を考えた安全なラーメンを作りたいと、起業前に全国のラーメンを食べ歩いた店主。スープは産地や生産者が見える素材を求めて、利尻昆布や鹿児島産の3種の節、干し貝柱、地場野菜など20種以上。天然素材のスープに合わせるタレは、地元金沢・大野の醤油。チャーシューや餃子などもすべて自家製。熟成させた皮がつるんと口に滑り込む自家製ワンタンなど、やさしい味わいが心と身体にじんわりします。らーめんワンタン玉子1350円。



金沢駅から歩いて5~6分の別院通りに位置



素材の滋味を溶け込ませたふれぬ旨みの透明スープ

らーめん風花

らーめんかざはな

☎ 076-264-2229 住 金沢市此花町2-4
 時 11時~14時、17時~21時
 ※日曜は昼のみ営業
 休 月曜(祝日は営業) ㊄なし



安産、子授け、水難除けの金沢水天宮も祀られる



樹高約20m、金沢市指定の保存樹クスノキが立つ



龍神の口から水が流れ出る手水舎



お礼のために奉納された加賀八幡起き上り

金沢駅から徒歩約5分の好立地。平安時代に創建され、この地に移転したのは江戸時代。刀鍛冶が多く住まいを構えていたことから、「鍛冶八幡さん」とも呼ばれています。祭神には応神天皇を祀り、誕生の際に真紅の産着を着ていたことから、その姿を模した愛らしい人形を作り「加賀八幡起き上り」と名付けたそうです。今も、女子が生まれると健やかな成長を願ってこの人形を贈る風習が受け継がれており、安産祈願の授与品としても授けられます。厄除け、病氣平癒、商売繁盛など、多くの人が参拝に訪れています。社務所で御朱印も書き入れていただけます。

安江八幡宮

☎ 076-233-3688
 住 金沢市此花町11-27
 ㊄ 15台

安江八幡宮

やすえ
はちまんぐう

地元の信仰も厚い

加賀八幡起き上り由来の地